

URL : <http://www.owl-net.ne.jp/YEG/>

広島商工会議所
青年部会報 2003.8

第1回広島YEGソフトボール大会開催

第1回広島YEGソフトボール大会が、6月7日に広島工業大学沼田校舎グラウンドにて当初の予定を超える100人以上の参加者のもと開催されました。
当日は朝から天気にも恵まれ、お昼にかけて気温もどんどん上昇し、各チームともにお遊びムードを感じさせることなく、初戦から真剣勝負の熱戦が繰り広げられました。
日頃のストレスをボールに叩き



優勝チーム（広報グループ）

つけるが如く鋭いスイングスピートを披露されるバッター、にわかバッテリとしては呼吸がピッタリのピッチャー&キャッチャー、水も濡らさぬ2・遊間で繰り広げられるダブルプレー、また、それを後押しする応援席の大きな声援など、名（迷！）プレーが随所に現れ、大盛況のうち広報グループの優勝で幕を閉じました。今大会の成功を機に是非次回大会の開催を心よりお祈りいたします。



本当に強かった事務局チーム



市川委員長の名言

『あの頃取れたボールも今は取れない』



老体にムチを打っての役員チーム



ソフトボール大会について

久保田貴八郎

「広島市民球場で広島YEGのソフトボール大会を開催したい」と提案したが、怪我人がでる、人が集まらない、今までどおりがいいというのが理由で、あっさり反対された。
さらに、広島市民球場側から、プロ野球シーズン中、軟式野球はいいが、ソフトボールはだめだという回答だった。これには、たくさんの方に尽力頂いたが、結果は同じ。他の公共的な球場は、駐車場がない、狭い、1ヶ月前でないし予約できないなど色々な理由で広島工業大学のご協力により沼田校舎で開催することができた。新年度に1人でも多くの会員が集まり、お互いを今以上に理解でき、委員会が少しでも盛り上げればとの思いが通じた。6月7日（土）広島YEGではじめてのソフトボール大会が開催され、集まった会員、応援の家族、知人を含めると約120名になる。開会式でメンバーの顔を1人1人みたと、結構知らない人がたくさんいる。自分自身、実際プレーをしたが、思い通りに体が動かない。挙句に2試合目の途中で左ふとももが痛くなりあっさりリタイア。情けないと思いつつも、各委員会チームの応援に回った。結果は、例年委員会と広報委員会の合同チームが優勝した。思った以上に盛り上がり、場所を変えての懇親会（広島国際ホテル）でも、試合の様子、プレー内容等の話で大変な賑わいだった。自分のふとももだが、医者に診てもらったところ、筋肉断裂症（俗に肉離れという）と診断され、周りからは大丈夫？と笑われる。しかも広島YEG設立7年目にして初めてのレクリエーション保険請求をしてしまった。しかし、最初にやろうと言った私の怪我だけで済んだのは、思った以上に広島YEGは元気で底力ありと感じた。この元気底力が、今後のみなさんの活動に、仕事に役立てていただきたいと思います。次回開催は、ぜひ広島市民球場で、皆さんとお会いしたい。

5 月 例 会

テーマ：「子育てから学ぶコミュニケーションの極意」
講 師：親業訓練協会 シニアインストラクター

講演趣旨：



テーマに子育てと書いてありますが、子育てという親子関係は、いろいろな人間関係の基本の中になっています。この講演では「子育て業」を「親業」としてとらえその話の中から人間関係のスキルについて伺いました。

「親業」とは子供を一人の人間として尊重しながら、20年30年と生きてきた経験を伝える事です。企業内でも親業と同様に部下に経験を伝え、授けていく必要があります。

最近、会社にいけなくなった方のカウンセリングをしてみると、子供時代に、過干渉であったり、放任されたり、家庭環境が悪いといった傾向があり、その人たちは「自分の人生を実感せず」に育ってきています。子育てとは子供に人生を実感させる事が重要です。つまり、子供の人生を奪いすぎてはいけません。企業内でも同じことが言えます。

その方法として、まず相手の考え方、生き方をそのまま受け止めて共感的な反応を示し相手の気持ち、心の痛みを理解する。そのうえで、適切に叱ったり、価値観を伝え、自分を正直に見せる事が良い指導でありコミュニケーションになります。心理カウンセラーの仕事もしていますが、カウンセラーの仕事時間は、聞くことが8〜9割を占めています。相手の事を理解している、わかってあげる事により相談者の心が落ち着き立ち直る手助けができるということです。

最後に、参加者全員3人1組になり、親役と子役、観察者に分かれて共感的対応についてロールプレイングを行いました。メンバー全員笑いながらですが真剣に行い、子役の不満を親役が共感的対応で受け止めていました。参加者の感想では子役をしてみて心が軽くなった？かの効果があったという感想が寄せられていました。

6 月 例 会

テーマ：「強い会社、組織をつくる」
講 師：RCC中国放送 アナウンス室長

講演趣旨：



YEGの例会でテーマである「強い会社、組織をつくる経営トップのリーダーシップ」を語る事になりましたが、YEGメンバーのほうから川島氏よりも詳しく知っているのではないのでしょうか。また、いろいろな経験をされているのだと思います。そのため、この場では「Eタウン」という番組を通じていろいろなトップの方とお会いして気づいたことをお話しします。

気づいたことに関して一言で言いますと、強い会社の経営については、トップダウンの経営がいいのかボトムアップの経営がいいのかわかりません。しかしながら強い会社は、経営トップが誰でもわかるような「ビジョン」を持っています。そのビジョンは面白そうな、わくわくするものでなければいけません。そしてそのビジョンをもとに決断力があり、周りの人に対して説明力・説得力をもって理解してもらったことが、強い会社、組織をつくる経営トップのリーダーシップであるといえます。

また川島氏は、スपोर्टアナとしてのエピソードと、スピーチテクニックなどについてのお話をされ、その中で、どうやって人ととのネットワークを構築していったかを楽ししいエピソードを交えてお話しくださいました。



県青連ゴルフ大会



広島県商工会議所青年部連合会会長

桜井 文晶

県青連ゴルフ大会は、県青連が設立された当初から県内YEG会員の交流の場として開催されています。

毎年9月開催が恒例ですが、県内YEGの皆さんに9月のビジネスフェスティバルに是非参加して頂きたいと思い、今年は6月開催としました。

梅雨真っ只中にもかかわらず鷹の巣ゴルフクラブの絶好のコンディションのもとプレーを楽しみ、懇親会場のクヴェーレ吉和では話題のゴッホ「農婦」を鑑賞し、

一日を振り返りながら大いに交流を深めて頂いたのではないのでしょうか。

ご参加いただいたご来賓はじめ県内YEGのOBならびに現役会員の皆様、本当にありがとうございました。そして改めて主管をして頂いた廿日市YEGの皆さまに心から感謝申し上げます。



7月例会

テーマ：提言「観光都市広島に求められる機能」
講師：広島経済同友会 1,500万人委員会

委員長 河野 高信 氏
(已斐商事(株)代表取締役)

広島経済同友会のご紹介：
広島企業の経営者、代表者の方々が多数入会しており、現在約700名の会員を擁す。最近では若手経営者の発言、提言も受け入れられるようになってきている。



かつての観光都市広島は、ここ数年の観光客動員数が約900万人まで落ち込み、観光に関連する事業のみならず、広島の経済全体に大きな痛手を与えている現状である。河野氏は「単にこの経済状況のみを危惧している

だけではない、日本全国的に少子高齢化、過疎過密の問題が広がり、東京圏に全人口の4分の1が集中し、地方には若者がいなくなり高齢者ばかりになってきている現状を十分に認識し、観光により、地域が自分たちの持つ歴史、伝統、景観、町並みを取り戻し、その地域の人々が自分の地域に自身と誇りを持ち、さらに磨きをかけ、人が集まって交流が始まり、若者たちが地方に戻ってくる。そういった運動を展開しないと我々はさらに大きな問題を抱えることになる」ということで、この大きな問題に取り組むために広島経済同友会の1,500万人委員会委員長に就任され、同会として7つの提言を提出され、本年12月には「広島三昧倶楽部」というイベントも企画しておられる。

「中四国地方の各市町村で少子高齢化、過疎過密の問題が深刻化してきている中、小さな町村でも自分たちの町に何ががあるか必死に探し、町おこしの努力をしている、そういった町が埋もれてしまわないためにも、広島が核となって、広域連携してゆくことで互いに地域を活性化してゆくことが当委員会の基本理念であり、今現在整備されている社会資本（高速道路、イベント施設、宿泊施設など）を維持してゆくためにも人々の交流が必要不可欠であり、観光はそういった意味でも重要な役割を担っている」と河野氏は語る。

ところが、河野氏によれば、広島県も、広島市も、世界遺産2つに代表される他自治体に引けをとらない観光資源を持ちながら、それを生かす努力を全くといってよいくらいしていない現状であるとのことである。国はこの危機的状況を乗り切るために祝日法を改正したり、国土交通省も高速道路料金についてスーパージョイントを実施し、前者においては地域により10%～80%の観光客増加、後者においても大きな成果が上がっている中で、広島はその手続き段階にも至っていない状況で、福岡県を始めとする自治体に大きく水をあけられているということである。他の自治体では、観光資源を最大限に生かすためにその施設を民間委託するなどして成果を挙げているともいう。

広島は、県も市も、観光振興目標を掲げているがどれも絵に描いた餅でこの危機的状況を危惧しておらず、また民間に委託することも考えていない。そんな中、JR西日本広島支社長の近藤氏の尽力により平成17年のJRデスティネーションキャンペーン広島が組まれることとなった。この機会に是非広島を全国の人々に知ってもらい、アピールして成功させなければならぬ。そのためには広島県、広島市行政に任せられている成功するものも成功しないではないか、我々市民がこのキャンペーンを成功に導く、その準備に我々市民で取り掛かっていこう。という内容であった。



新しく会員になられた皆さん

6月新入会員

中島 弘規

中島広義税理士事務所 税理士(税理士)

木村 泰大

(株)モリ方商事 専務取締役(業務用食品卸)

7月新入会員

島津 曹生樹

(有)アイティ・コミュニケーションズ 代表取締役

(通信機器販売業)

勝治 光夫

勝治土地家屋調査士事務所(土地家屋調査士)

太田 真義

(株)ユニックス 生産管理部部长(印刷業)

織田 直子

(株)アクエリアス情報研究所 代表取締役

(経営コンサルティング)

募集 !!

毎月の例会でビジネスコーディネーター

新商品、新店舗、サービス、お得情報何でもOK
広告、YEGホームページもタイアップしています。

【お問い合わせ】

事務局にお問い合わせください。

広島商工会議所青年部事務局 担当 田辺

TEL : 082 - 222 - 6661

FAX : 082 - 222 - 6664

E-mail : yeg@hirosimacci.or.jp

広島商工会議所青年部 第4回 ビジネスフェスティバル

ビジネス交流委員会 幹事
三好 和夫
本年度の青年部は、「人と人の絆と企業ネットワークの推進」をテーマとして事業を展開しており、ビジネスチャンスの創造と拡大、あらゆる角度からビジネスヒントの模索を目的として第4回広島商工会議所青年部広島ビジネスフェスティバルを開催いたします。



開催日時：平成15年9月24日(水)

10:00～15:00

開催場所：広島県立産業会館 東展示館

第2・第3展示場

展示内容：

ブース展示コーナー

技術・商品・サービス等の紹介、販売

アウトレットコーナー

出展企業によるアウトレット商品の販売

プレゼンコーナー

出展企業によるプレゼンテーション

商談コーナー

お気軽にご利用ください

その他：

スタンブラリーの抽選で素敵なプレゼントをご用意しております。

特別企画として

漆芸 金城一國画展

広島で160年前に育まれた伝統漆芸技法「一國齋高盛絵」初代から七代まで

を開催いたします。

皆様の御来場をお待ちしております！

満遊記

広島YEGサマーフェスタ2003

旅の記者
とつとこ八ヤ太郎

前夜祭である宇品での花火大会も盛況に終わり、去る7月27日、日曜日、日本晴れの中、広島YEGサマーフェスタ2003が広島湾に浮かぶ無人島、絵の島にて開催されました。

当日の早朝、約140名のYEGメンバーと家族からなる老若男女が宇品に大集結。チャーターされたフェリーに乗り込み、いざ出陣。各々が船上のデッキで爽やかな海風を味わいながら早朝の広島湾クルージングを満喫した。

最初に我々が目にしたのは、2隻の漁船によるダイナミックな底引き網漁だ。子供たちの大歓声の中、次々と大小、さまざまな魚が引き上げられた。圧巻は体長2メートルもある「大はも」の生け捕りだ。その後、我々の乗船しているフェリーに生け捕りされた魚たちが、荷揚げされると、子供たちはおそろおそろ魚を触り、みんな思い思いの記念写真の撮影会となった。



底引き網の興奮も冷めやらぬうちに、いよいよ目的地である絵の島への到着となった。戦時中は要塞の体をなしていたこの島も、その後、広島島の代表的な海水浴場として賑わいをみせていたが、いまでは真っ白い灯台だけがのこされた無人島となっている。そのせいか、昔、私たちが子供のころに連れて行ってもらった

海水浴場の思い出が甦ってきた。

桟橋にフェリーが接岸するとワイワイ、ガヤガヤ、ソロソロ、荷物を持って上陸だ。子供たちは大人がどんなに止めても一斉に走り出した。砂浜では既に会員親睦委員会のメンバーが準備を整えており、大変ありがたかった。感謝、みんな、上陸するとすぐさま、水着に着替えて海水浴となった。広々とした砂浜と穏やかな海。まぶしい太陽と真っ青な空。気分は最高、ビールも最高、うまい。

少し時間が経つとお腹が減ってきた。いよいよ、お待ちかねのバーベキュー大会だ。焼いても焼いても、すぐに肉が、海老が、焼きそばがなくなってしまう。もう、みんな満腹だ。おいしかった。うまかった。

そして、心憎いのは食後のデザートだ。お楽しみスイカ割り大会でスイカを割って食べようというのだ。子供たちの長い行列ができ、大歓声とともにスイカが次々と割られていった。これもまた、おいしかった。うまかった。本当に満腹だ。その後、残念ながら筆者は日頃の夜の激務のため、寝てしまいました。すいません。

気がついたら、みんな、片付けしてました。最後はみんなで、片付けた後、再度フェリーで宇品に帰っていただきます。帰りは、クーラーに新鮮な魚をいっぱい詰めてもらいました。本当に楽しかった一日でした。会員親睦委員会のみなさん、ありがとうございました。



サマーフェスタを終えて...
会員親睦委員会委員長 市川 弘

7/27(日)、サマーフェスタ2003を開催させていただき、皆様のご協力を得て、無事終了いたしました。夏休みの最初の日曜日、2日前に梅雨も明け、行楽地はどこも大変混雑したようです。そんななか、フェリーと島を借り切って、YEGメンバーと家族だけで遊び、食べ、交流できたのはとても楽しく、贅沢で満足度も高かったのではないのでしょうか？また、「家族にもっとYEGを知ってもらおう」というサマーフェスタの目的も達成できたのではないかと思います。

私自身、サマーフェスタに参加したのは初めてでしたが、「結構楽しい」というのが感想です。いろんな方とお話できましたし、新たに仲良くなれた方もいました。まさに「REAL YEG」を実感した1日でした。出来るだけ参加する。積極的に関わることしか得られないものがあるとサマーフェスタで教わったような気がします。

最後に、瀬戸内海汽船のスタッフの方々、当日お手伝いいただいた皆様、様々な形でご協力いただいた役員の方々、事務局の皆さん、本当にありがとうございました。ご理解とご協力に感謝いたします。



二大イベントを終えて
ネットワーキンググループ担当副会長 植田 裕

ありがとうございました！
会員親睦委員会の年間事業の中で二つの大きな事業を無事終了させることができました。これも会員の皆様のご理解とご協力があったからこそ感謝しております。特に、委員会のメンバーと委員会のメンバー以外でお手伝いを頂いた方々、本当にありがとうございました。

期待

この2つの事業を通して、会員同士が懇親を図り、絆ができて、企業間のネットワークが構築できていけば、すばらしいことだと思えます。本事業が来年、再来年と発展し続ける事業になることを期待します。

ソフトボールとサマーフェスタの写真はホームページでご覧になれます。